

介護保険事業計画に記載した「取組と目標」等の
取組状況及び自己評価結果等(令和2年度分)

◎ 市町村介護保険事業計画に記載した「取組と目標」に関する評価等

1 自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
介護予防	介護予防に関するボランティアの養成	地域支援サポーターの養成、登録者数100名	住民同士のつながりの強化や地域の閉じこもり高齢者を発見し、必要な支援に繋げる役割を担う「地域支援サポーター」を養成し、新たに13名が登録し、合計登録者数は77名となった。	講座参加者から「これからの地域づくり、安心して過ごせるまちづくりのためには、この活動が町全体に広がる必要がある」との声が聞かれるなど、住民主体のまちづくりの意識が少しずつ根付いてきている。	1回当たりの講座の参加者数は減っているが、地域住民が自分の住む地域のことを考える機会として今後も継続する必要があるため、関心を持ってもらえるよう周知方法を検討する。
介護予防	元気アップ教室(介護予防教室)の開催	年間開催数40回	各行政区の老人クラブからの依頼により地域に出向き、元気アップ教室を年間21回開催し、258名の参加があった。	依頼回数は徐々に増えており、参加型から住民主体の活動へ繋げることができた。	今後も教室の開催を継続することにより、介護予防を啓発するとともに住民が主体となる活動を普及させていく。

2 介護給付の適正化に関する取組と目標

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
給付適正化	住宅改修の点検	全件	全70件の申請について書類上の確認を実施、うち7件について事前事後の訪問による確認を	担当者数が少ない中、目標は達成できている。	理学療法士等の専門職が点検に関与する体制づくりを行う。
給付適正化	ケアプラン点検	プラン総数の20%	総数3,613件のうち、863件(23.9%)の点検を実施した。	目標は達成できているが、点検の質の向上を図るための研修機会の確保が必要。	ケアプラン点検の質の向上を図るため、研修機会の確保が必要。